

平成29年8月4日付
読売新聞

司法書士の苦労実感

登記制度への理解を深めてもらおうと、茨城司法書士会は3日、高校生の「一日司法書士」体験会を開いた＝写真＝。

県内9校から生徒14人が参加。水戸市の茨城司法書士会館で、まず司法書士から登記や相続の説明を受けた。関係書類を見て登録免許税の計算などを行い、遺産相続をするための登記申請書をまとめた。水戸地方法務局や水戸地裁も見学し、法務局では実際に県内外の有名企業の登記事項証明書を請求した。



東風高校3年の桜井遥さん(17)は「書類作成も大変だが、様々な証明書を集めるのは想像以上に苦労すると感じた」と話した。藤井里美会長は「司法書士は社会のためになる職業。進路選択の参考にしてほしい」と呼びかけた。

平成29年8月4日付
朝日新聞



▽高校生が司法書士体験
「司法書士の日」の3日、茨城司法書士会は高校生を対象に一日司法書士体験会を開いた。委嘱状を受けた高校生の男女14人が参加。司法や登記の仕組みについて講義を受けた後、相続に関する登記書類の作成などを体験した。
高校3年の女子生徒(17)は「業務体験は進路選択の参考になった。将来は法律の力で困っている人を助けられる仕事に就きたい」と話していた。

まちかど

高校生14人が
登記申請体験

水戸で一日司法書士

「暮らしの法律家」と呼ばれる司法書士の仕事を知らせてもらおうと、茨城司法書士会(藤井里美会長)は、水戸市五軒町の茨城司法書士会館で、高校生を対象に「一日司法書士」体験会を開いた。県内9校の男女14人が参加。相続登記申請体験や法務局見学を行い、法律の知識を深めた。

「司法書士の日」(8月3日)に合わせた取り組みで、今回が6回目。藤井会



司法書士(中央)の説明を聞き、書類を作成する生徒たち。水戸市五軒町

長は「少しでも司法書士の仕事内容を知ってほしい」とあいさつ。生徒たちに一日司法書士を委嘱し

「仕事内容を学び、将来の役に立った」と振り返った。業務体験では、相続による土地と建物の名義変更挑戦。「遺産分割協議書」や「委任状」などの用語に戸惑いながらも、司法書士の説明を聞きながら登記申請書を作成した。将来は法律に関わる仕事をしたいという、つくば国際大東風高3年、桜井遥さん(17)は「登記申請にはたくさん書類が必要なこと驚いた」と話し、

平成29年8月11日付
茨城新聞